

月例経済報告の変遷

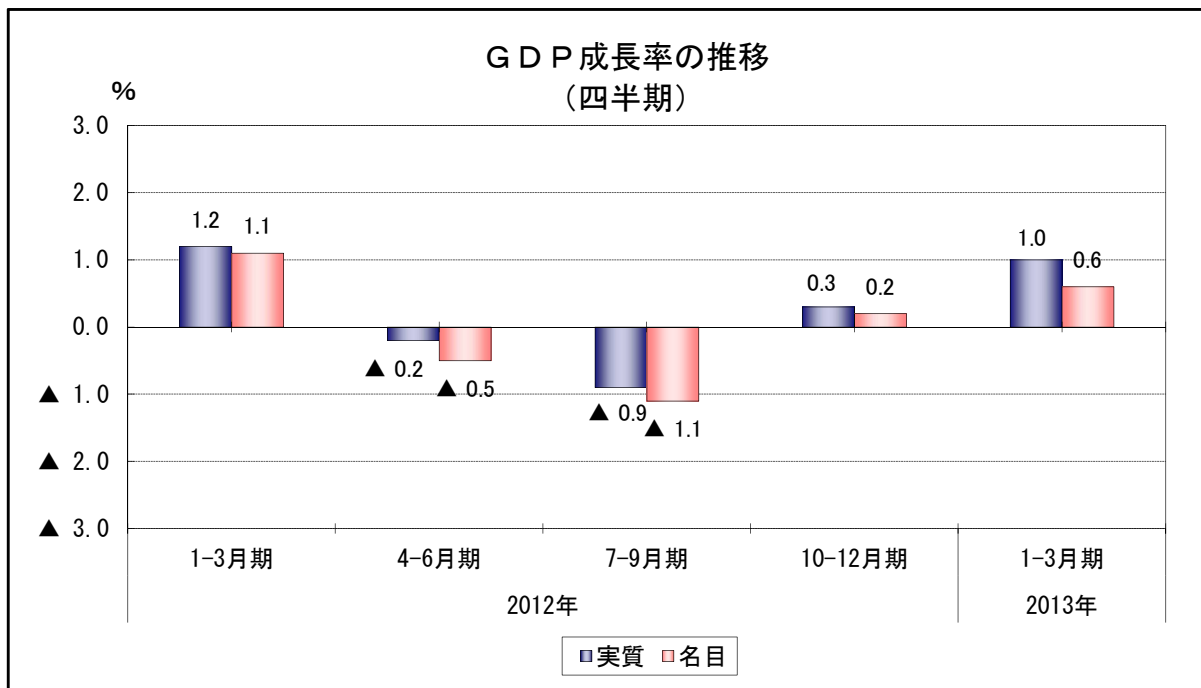
	平成25年	
	5月	6月
基 調 判 断	<p>景気は、<u>緩やかに</u>持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出は、持ち直しの<u>兆し</u>がみられる。 ・生産は、<u>緩やかに</u>持ち直している。 ・企業収益は、<u>大企業を中心に改善の動きがみられる</u>。 ・設備投資は、<u>下げ止まり</u>つつある。 ・企業の業況判断は、改善の動きがみられる。 ・雇用情勢は、<u>依然として</u>厳しさが残るものの、<u>このところ改善の動きがみられる</u>。 ・個人消費は、持ち直している。 <p>・物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にあるものの、このところ一部に変化の兆しもみられる。</p> <p>先行きについては、<u>輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果などを背景に、マインドの改善にも支えられ、次第に景気回復へ向かうことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、雇用・所得環境の先行き等にも注意が必要である。</u></p>	<p>景気は、<u>着実に</u>持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出は、持ち直しの動きがみられる。 ・生産は、持ち直している。 ・企業収益は、<u>製造業を中心に改善している</u>。 ・設備投資は、<u>下げ止まり</u>つつある。 ・企業の業況判断は、改善の動きがみられる。 ・雇用情勢は、厳しさが残るものの、<u>改善している</u>。 ・個人消費は、持ち直している。 <p>・物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にあるものの、このところ一部に変化の兆しもみられる。</p> <p>先行きについては、<u>輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現するなかで、企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながり、景気回復へ向かうことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。</u></p>
個 人 消 費	持ち直している。	持ち直している。
設 備 投 資	下げ止まりつつある。	下げ止まりつつある。
住 宅 建 設	底堅い動きとなっている。	持ち直している。
公 共 投 資	底堅い動きとなっている。	堅調に推移している。
輸 出 入	輸出は、持ち直しの <u>兆し</u> がみられる。 輸入は、横ばいとなっている。	輸出は、持ち直しの動きがみられる。 輸入は、横ばいとなっている。
国 際 収 支	貿易・サービス収支の赤字は、増加傾向となっている。	貿易・サービス収支の赤字は、増加傾向となっている。
鉱 工 業 生産・出荷・在庫	生産は、 <u>緩やかに</u> 持ち直している。	生産は、持ち直している。
企 業 の 動 向	企業収益は、 <u>大企業を中心に改善の動きがみられる</u> 。 企業の業況判断は、改善の動きがみられる。	企業収益は、 <u>製造業を中心に改善している</u> 。 企業の業況判断は、改善の動きがみられる。
倒 産 件 数	<u>このところ緩やかに</u> 減少している。	<u>おおむね横ばい</u> となっている。
雇 用 情 勢	雇用情勢は、 <u>依然として</u> 厳しさが残るものの、 <u>このところ改善の動きがみられる</u> 。 完全失業率は、3月は前月比0.2%ポイント低下し、4.1%となった。	雇用情勢は、厳しさが残るものの、 <u>改善している</u> 。 完全失業率は、4月は前月と同水準の4.1%となった。
政 策 態 度	<p>政府は、日本経済を大胆に再生させるため、大震災からの復興を前進させるとともに、「成長と富の創出の好循環」へと転換し、「強い経済」を取り戻すことに全力で取り組む。田高昇正、デフレからの早期脱却のため、デフレ予想を払拭するとともに、機動的・弾力的な経済財政運営により、景気の底割れを回避する。特に、最近、景気回復への期待等を背景に、株価の回復等もみられており、こうした改善の兆しを、適切な政策対応により景気回復につなげる。</p> <p>このため、政府は、平成24年度補正予算を含めた緊急経済対策の迅速かつ着実な実行に向けて、しっかりとした進捗管理を行うとともに、今般成立した平成25年度予算を着実に執行する。</p> <p>日本銀行には、2%の物価安定目標をできるだけ早期に実現することを期待する。</p>	<p>政府は、大震災からの復興を加速させるとともに、デフレからの早期脱却と経済再生の実現に向けて全力で取り組む。このため、「再生の10年」に向けた基本戦略を示す「骨太方針（仮称）」及び「成長戦略（仮称）」を取りまとめる。</p> <p>日本銀行には、2%の物価安定目標をできるだけ早期に実現することを期待する。</p>

(備考)下線部は、先月から変更した部分。

○2013(平成25)年1～3月期四半期別GDP速報(2次速報値)

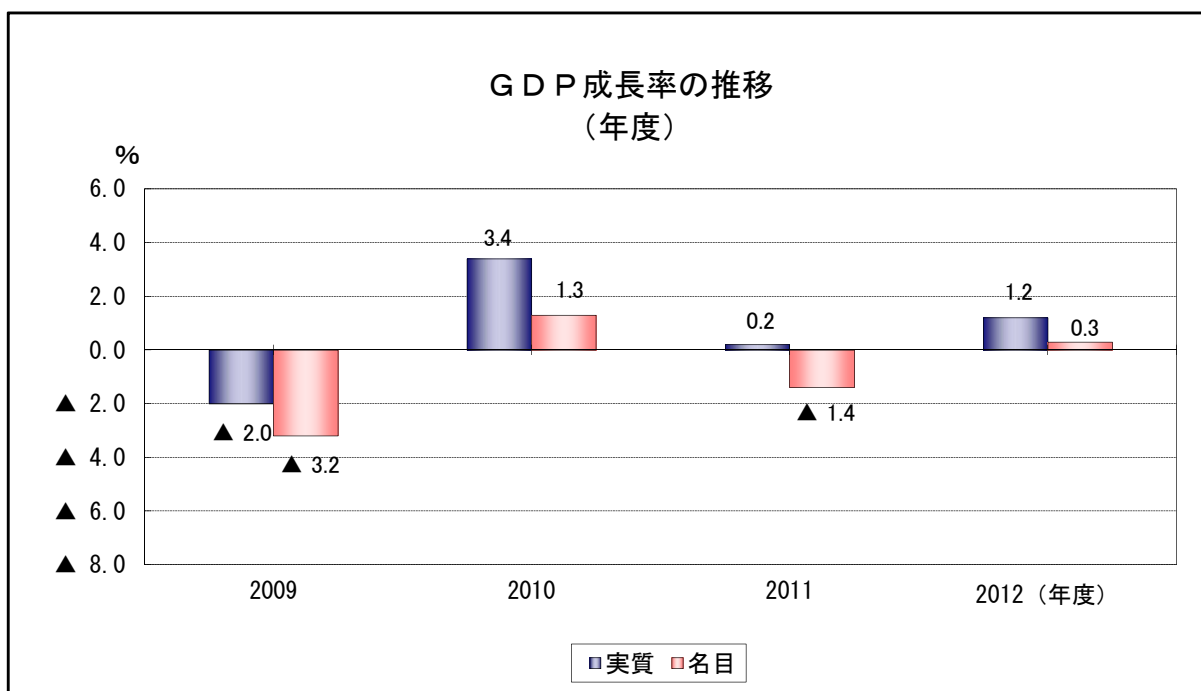
・GDP成長率(季節調整済前期比)

2013年1～3月期の実質GDP(国内総生産・2005暦年連鎖価格)の成長率は、1.0%(年率4.1%)となった。また、名目GDPの成長率は、0.6%(年率2.2%)となった。



・2012年度のGDP

2012年度の実質GDP成長率は1.2%、名目GDP成長率は0.3%となった。



○平成25年度の政府経済見通し（主要経済指標）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	対前年度比増減率					
	(実績)	(実績見込み)	(見通し)	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	兆円 (名目)	兆円程度 (名目)	兆円程度 (名目)	% (名目)	% (実質)	%程度 (名目)	%程度 (実質)	%程度 (名目)	%程度 (実質)
国内総生産	473.3	474.9	487.7	▲ 1.4	0.3	0.3	1.0	2.7	2.5
民間最終消費支出	287.3	289.2	294.2	0.9	1.5	0.7	1.2	1.7	1.6
民間住宅	13.5	13.8	14.8	4.2	3.7	2.3	3.1	7.5	6.8
民間企業設備	63.8	63.1	65.4	3.1	4.1	▲ 1.1	▲ 0.7	3.6	3.5
民間在庫品増加 ()内は寄与度	▲ 2.8	▲ 2.4	▲ 2.0	(▲ 0.5)	(▲ 0.5)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)
政府支出	117.9	121.6	125.8	0.9	0.9	3.1	4.2	3.5	3.1
政府最終消費支出	98.4	99.7	99.6	1.3	1.5	1.6	2.9	1.3	1.1
公的固定資本形成	21.0	23.2	26.2	▲ 1.6	▲ 2.3	10.2	10.2	13.0	11.9
財貨・サービスの輸出	70.9	69.0	73.6	▲ 3.9	▲ 1.6	▲ 2.8	▲ 1.8	6.8	4.3
(控除)財貨・サービスの輸入	77.3	79.3	84.2	11.2	5.3	2.5	4.0	6.2	3.7
内需寄与度				0.8	1.3	1.2	1.9	2.7	2.5
民需寄与度				0.6	1.0	0.4	0.8	1.8	1.7
公需寄与度				0.2	0.2	0.8	1.0	0.9	0.8
外需寄与度				▲ 2.2	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 0.0	0.0
国民所得	346.8	349.1	358.9	▲ 1.6		0.7		2.8	
雇用者報酬	245.3	244.8	247.9	0.6		▲ 0.2		1.2	
財産所得	19.7	19.7	20.7	▲ 2.4		▲ 0.2		5.1	
企業所得	81.7	84.5	90.3	▲ 7.3		3.4		6.8	
労働・雇用	万人	万人程度	万人程度		%	%程度		%程度	
労働力人口	6,578	6,547	6,550		▲ 0.8		▲ 0.5		0.0
就業者数	6,279	6,270	6,297		▲ 0.3		▲ 0.1		0.4
雇用者数	5,501	5,511	5,559		▲ 0.1		0.2		0.9
完全失業率	%	%程度	%程度						
	4.5	4.2	3.9						
生産	%	%程度	%程度						
鉱工業生産指数・増減率	▲ 1.0	▲ 2.9	3.4						
物価	%	%程度	%程度						
国内企業物価指数・変化率	1.4	▲ 1.2	0.8						
消費者物価指数・変化率	▲ 0.1	▲ 0.1	0.5						
GDPデフレーター・変化率	▲ 1.7	▲ 0.6	0.2						
国際収支	兆円	兆円程度	兆円程度		%	%程度		%程度	
貿易・サービス収支	▲ 5.3	▲ 9.3	▲ 9.3						
貿易収支	▲ 3.5	▲ 6.4	▲ 6.6						
輸出	62.6	61.0	65.3		▲ 2.8		▲ 2.5		7.0
輸入	66.1	67.4	72.0		14.0		2.0		6.8
経常収支	7.6	4.4	5.0						
経常収支対名目GDP比	%	%程度	%程度						
	1.6	0.9	1.0						

注1) 消費者物価指数は総合である。

注2) 労働・雇用の平成23年度については岩手県、宮城県及び福島県について補完的に推計した全国値。

注3) 世界GDP(日本を除く)、円相場、原油輸入価格については、以下の前提を置いている。なお、これらは、作業のための想定であって、政府としての予測あるいは見通しを示すものではない。

	平成23年度 (実績)	平成24年度	平成25年度
世界GDP(日本を除く)の 実質成長率(%)	3.4	2.4	2.9
円相場(円/ドル)	79.0	81.9	87.8
原油輸入価格(ドル/バレル)	114.1	113.6	112.5

備考)

1. 世界GDP(日本を除く)の実質成長率は、国際機関等の経済見通しを基に算出。

2. 円相場は、平成24年12月26日～平成25年1月18日の期間の平均値(87.8円/ドル)が平成25年1月21日以後一定と想定。

3. 原油輸入価格は、スポット価格の前月平均値に運賃、保険料を付加した値。スポット価格は、平成24年12月26日～平成25年1月18日の期間の平均値が平成25年1月21日以降一定と想定。平成25年2月以降の原油輸入価格(112.5ドル/バレル)で一定と想定。

※ 本経済見通しに当たっては、「2. 平成25年度の経済財政運営の基本的態度」に記載された経済財政運営を前提としている。

※ 我が国経済は民間活動がその主体をなすものであること、また、特に国際環境の変化には予見しがたい要素が多いことを鑑み、上記の諸係数はある程度幅を持って考えられるべきものである。

